



土木技術者女性の会は、  
1983年に約30名で設立された  
女性の土木技術者による  
非営利の独立した団体です。

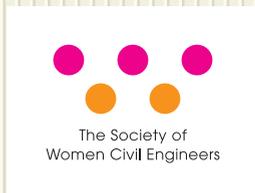
土木界ではたらく女性技術者の  
質の向上と活動しやすい環境づくりのために、  
鋭意努力してまいりました。

設立以来、任意団体として活動してきましたが、

2013年11月18日（土木の日）に  
一般社団法人 土木技術者女性の会として  
新たに発足しました。

現在、約250名の女性土木技術者が  
当会に所属しています。

今後とも、土木のあらゆる分野における  
女性技術者の活躍を支えるとともに、  
未来の女性技術者の育成にも  
力を注いでまいります。



当会のロゴマークは、女性（Women）を意味する「W」をモチーフに  
女性と社会の連携やコミュニケーションを象徴しています。

土木にやりがいと誇りを感じる、元気な女性たちの姿を  
5つの円（当会の5つの目標）で表現し、知の集積を表現しています。  
さらに、単純化された5つの円は未来への拡がり、発展への可能性を示し、  
当会のメッセージを発信します。

オレンジとピンクの暖色系の色使いで、  
オレンジは力強さ、発展性、元気を象徴し、  
ピンクは品位と明るさを表現しています。



## どぼく未来宣言

土木は、人々の命と暮らしを守り、真の幸福をもたらすという重大な使命を担っています。

わたしたち土木技術者は、常に自然災害の脅威に対して真摯に向き合い、それぞれの地域特性と社会特性に適合した自然と人間の共存のあり方を工夫し、自ら技術と人間性の研鑽に励むと共に、これを次世代に伝える努力を続けます。

2012年6月22日  
土木技術者女性の会

※どぼく未来宣言は、2012年に開催された土木技術者女性の会  
設立30周年記念行事において宣言されたものです。

## 内閣府「平成26年度女性のチャレンジ賞」受賞

本賞は、多くの国民が個性と能力を発揮できる男女共同参画社会の実現に向けて、チャレンジすることで輝いている女性個人、女性団体・グループ及びそのようなチャレンジを支援する団体・グループ等を顕彰するものです。2014年6月27日に受賞しました。



一般社団法人 **土木技術者女性の会**  
The Society of Women Civil Engineers



URL: [www.womencivilengineers.com](http://www.womencivilengineers.com)  
E-mail: [infoswce@womencivilengineers.com](mailto:infoswce@womencivilengineers.com)



The Society of  
Women Civil Engineers

一般社団法人

**土木技術者女性の会**



The Society of Women Civil Engineers





一般社団法人 土木技術者女性の会  
第6代会長

## 渡辺弘子

当会は名称どおり、女性土木技術者の集まりです。この名称をつけた30年以上前は、これほど明確な名称を付ける必要があったほど女性土木技術者の少なかった時代でした。しかし、あれから時代は進み、「伝説的存在」とまで言われた女性土木技術者を、街中でも多く見かけるようになったのはみなさんご存知のとおりです。当会もこの30余年で多彩なロールモデルの宝庫となり、会員ひとりひとりの活躍が期待される時代が到来しました。

人々の命と暮らしを守るという土木の使命を担い、自らの技術と人間性の研鑽に励むことはこれまでと変わりません。この志を次世代へ伝えるとともに、今後はさらに時代の変化に対応しながら、真に豊かな社会の実現に貢献すべく進んでいきたいと思っております。

# 一般社団法人 土木技術者女性の会

The Society of Women Civil Engineers

土木技術者女性の会は、女性技術者の質の向上と活動しやすい環境作りのために、次の5つの目標を掲げています。

- 土木界で働く女性技術者同士のはげましあい
- 土木界で働く女性技術者の知識向上
- 女性にとって魅力のある、働きやすい土木界の環境作り
- 女性土木技術者の社会的評価の向上
- 土木技術者をめざす女性へのアドバイス

## 会からの発信

会誌「輪」(りん)は、会の設立当初より発行されている会誌です。現在は年2回、電子版が発行されています。会の活動の報告、会員による寄稿などから構成されており、身近に仲間やロールモデルのいないことが多い女性土木技術者の貴重な情報源となっています。

「Civil Engineer への扉」は、土木技術者をめざす女子学生向けに出版した冊子です。約20名の会員が、女性土木技術者としてのロールモデルと、女子学生へのメッセージを紹介しています。これまでに、1999年版、2006年版を発行しました。

連絡先：土木技術者女性の会事務局  
infoswce@womencivilengineers.com



会誌「輪」



「Civil Engineer への扉」

## 会の活動

土木技術者女性の会は、総会(年1回)や見学会、セミナー、勉強会などの支部活動を開催しています。これまでに道路や地下通路、風力発電施設、ダムといった建設現場などの見学会を実施しました。最近では土木学会や地方自治体、大学、高等専門学校との連携により、女子学生を対象としたキャリアセミナーを開催し、好評をいただいています。

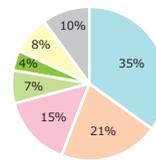
また、会員からの相談に応え、労働基準法に残っていた女性の坑内労働禁止の規制緩和に取り組み、2007年改正労働基準法において就労制限の範囲が大幅に緩和され、「技術上の管理および指導の業務」が行えるようになりました。



## 会員の構成

1983(昭和58)年1月に約30名で発足した土木技術者女性の会は、現在では、国内外に約250名の会員がおり、他の機関と連携しつつ多様な活動を進めています。会員は30代、40代がそれぞれ3割を占めています。また、建設会社、コンサルタント、官公庁や大学などの教育・研究機関に所属する他、フリーランスとして活躍する会員もいます。技術士、測量士、一級土木施工管理技士などの資格取得者も多く在籍しています。

2009年に学生会員の制度を創設し、学生の参加を歓迎しています。また、2016年には、サポーター制度も拡充しました。当会の目的に賛同し、賛助するために活動を支援する個人および団体が対象です。



2016年2月現在

## BACK IN 1982...

土木技術者女性の会の設立のきっかけは、1982年に開催された土木学会誌のための座談会でした。集まった5名の女性土木技術者は自分以外の女性技術者に会えたことを喜び、意気投合し、さらにおよそ30名の仲間を探し出して、1983年に土木技術者女性の会を設立したのです。

### 土木学会誌の座談会に出席した女性技術者



天野玲子氏



寺本和子氏



正木啓子氏

「座談会・女性土木技術者おおいに語る」(土木学会誌1982年9月号, pp.41-48)より、土木学会の許可を得て転載。